

平成 30 年度 活動報告書

NPO 法人
すぎなみ子育てひろば chouchou

I ひろば事業

1. つどいの広場

月曜日～金曜日及び第 2・4 土曜日	10:00～15:00
利用料	1 組 1 回 100 円
年間利用組数	1872 組 (29 年度 2097 組)
新規組数	292 組
担当スタッフ	常時 2 名 配置
在籍担当スタッフ (31.3.31 時点)	10 名

地域子育て支援拠点として、乳幼児親子が安心して集い、ゆっくり過ごせるひろばです。日常の子育てについて、子どもとの接し方や遊びのヒントなどを、親子が自分たちのペースで交流する中で見付けられる様にスタッフは温かく迎え、見守ります。お母さんたちの気持ちを受け止めて寄り添い、ともに子どもの成長を喜びたいと思っています。その先には虐待防止という大きな目的もあります。

30 年度は、お誕生会を月 1 回開催したほか、以下のようにプログラムを開催いたしました。

・木のひろば 毎月 1 回

国産木材を利用した良質な木のおもちゃを始めとした木のおもちゃのみのひろば

・フリーマーケット 年 2 回

子ども用品を中心としてつどいの広場を開催していない日に季節を変えて開催

・荻窪子どもセンターによる出張子どもセンター 1 回開催

お母さん方からの質問に答える中で、保育園や公園情報についてのお話などが好評

・シュシュ保育室室長によるお話会 2 回開催

「おむつトレーニングについて」

「新しい生活を迎えるにあたって気をつけたいこと」

・シュシュのお庭で遊ぼう 2 回開催

つどいの広場では普段あまり利用する機会のない芝生の庭であそんでみない？という企画です。

・プレコ（プレゼント交流）毎月 1 回

利用者の方が持ち寄った品物をお預かりし、ご希望の方が持ち帰っていただく企画です。

・子どもの足と靴のお話 3 回開催

靴の制作の傍ら、子どもの足と靴の関わりについて研究されている方から、子どもの足を計測と、いかに靴の選び方が今後の成長にとって大切かお話いただきました。

シュシュの他のサービスからつどいの広場へと利用がつながる方も増え、より安心できる場所になっているのではないのでしょうか。

民家をリフォームした部屋を利用していることから、決して広い空間とはいえませんが、その分、

お母さん方の顔が良く見え、表情がよくわかります。

地域の子育て情報の発信、顔と顔を合わせての気軽な相談、そして対等な大人の立場での話し相手と、自由な雰囲気作りに心がけ、今後も気軽に利用いただけるように工夫をしていきます。

2. きずなサロン プチシュシュ

4月～7月 第4水曜日 13:00～15:00 4回開催

ゆうゆう四宮館にて、NPO法人たすけあいワーカーズさざんかと協働事業

22組参加 参加費 200円

10月～3月 第4木曜日 9:30～11:30 5回開催

井草区民センターにて

36組参加 参加費 100円

きずなサロン「プチ・シュシュ」は今年で8年目です。シュシュの子育て支援の原点ともいえるひろばをシュシュとは別の地域の方々に利用していただきたいという思いで開催してきました。昨年度は4月から7月まではゆうゆう四宮館で、NPO法人たすけあいワーカーズさざんかと協働事業で行いました。親子の参加は回を重ねるごとに増えていきましたが、高齢者の方々の参加は難しく、4回で協働事業を終了しました。その後は、井草地域区民センターに戻り、新たに10月から開催してきました。

天候や気候にかかわらず、毎回参加してくださる方もいて、楽しく開催しています。

開催場所の確保は今後も課題ですが、参加してくださる皆さんとともに、温かい支えあいの場としてのサロンを作っていきたいと思っています。

3. 赤ちゃんカフェ

開催日数 50回

参加人数 465組 (新規 154組)

参加費 施設使用料 500円 (子育て応援券使用可)

飲み物・クッキー代 100円

担当スタッフ 毎回4名配置

0歳児赤ちゃんとお母さんたちにのんびりくつろいでいただく場として、毎週水曜日に2時間開催しました。赤ちゃんと二人きりだと息が詰まると2か月から1歳の誕生日一日前まで来てくださる方もいました。

好評だった焼きたてのクッキーとお茶を提供し、その間は赤ちゃんをスタッフが見守り、お母さん同士のおしゃべりが盛り上がることもありました。

年度中の初めてのご利用が154組。きっかけは保健センターや機関誌「シュシュ通信」だけでなく、HPや産前産後支援ヘルパー利用、友人の紹介、飲食店や授乳室で隣り合わせになった方からなど様々で、2人目出産しました来ましたという方もいらっしや、他事業とのつながりだけでなくお母さんたちの認知度の高さと必要性を実感しました。

また、保育園に預ける方も増えており、ここでの情報交換や友達作りを大事にしている方も多くみ

られました。

ミニサプライズ企画として予告なしで不定期に、助産師による抱っこ紐講座やジルベルト文庫さんによる絵本や手遊び、その他にもベビーマッサージ、子どもの靴相談会なども行いました。今後もお母さんたちの要望に応えられるような企画を考えていきたいと思っています。

今後、保健センターなどを通じて妊婦さんの利用にもつながり、多くの方に来ていただくことを期待しています。

Ⅱ 預かり保育事業

1. ひととき保育

開所日 月曜日～金曜日 9:00～17:00
利用料 1時間 800円 (杉並区子育て応援券利用可)

	30年度	29年度
年間利用者数	1642人	1919人
お断り件数	303件	429件
キャンセル件数	481件	597件

在籍担当スタッフ (31.3.31 現在) 10名

理由を問わない乳幼児の一時預かりです。通院、幼稚園・学校行事はもちろん、リフレッシュ等にもご利用いただけます。保育園に入園するお子さんも増え、近隣に開設された子ども子育てプラザ天沼内に一時預かりがあるため、利用者数の減少があり、今後の推移が懸念されるところです。また、キャンセルも多いため不安定要素が多く一時預かり事業の課題といえ、より一層の努力が求められていると思います。

しかし依然一時預かりの需要はあり、民家のアットホームな雰囲気、心の通う温かさを大切に、預ける方々、子どもたち共に安心していただけるよう、安全で丁寧なお預かりを心掛けています。

2. シュッシュ保育室

0歳児3名・1歳児6名・2歳児6名の小規模保育室として開室してから2年がたちます。やっと保育士も日々の保育に追われてあたふたとする姿が少なくなり、子どもたちとの対応も「先生」と言えるものになりつつあります。しかし人の成長で言えば這い這いからやっと立ち上がった状態です。これから周りを見回して、一步一步どのように動いていけば子どもたちや保護者たち、そして私たち保育に携わる者が満足できる保育室になるのか、考えることが出来る基礎ができたにすぎません。

〈保育の振り返り〉

年間計画に従い子ども達はもちろん保護者参加の行事も、滞りなくこなす事が出来ました。日々の保育の中でも、保護者の方の心配事の相談に乗ったり、保育のアドバイスをしたり、安心して預かりことが出来る保育室を目指してきました。昨年同様「親子で一緒にあそぼう会」には40名以上の保護者の方たちが参加してくださり、年齢に見合ったあそびの取り込みを見ることができて、各年齢の発達が一とめでわかり楽しかったとの多くの感想を頂きました。

〈年間行事〉	4月…入園式・入園説明会	12月…お楽しみ会
	5月…子どもの日の集い	1月…新年顔あわせ会
	7月…七夕まつり集会	2月…節分集会
	8月…水あそび開始	3月…ひなまつり集会
	10月…親子で一緒にあそぼう会	3月…そつえんお祝い会

その他…お誕生会（その子の誕生日に行う）・個人面談（5~6月）・保護者会（2月）
以上が一年間に取り組んだ行事です。

開室から一緒だった職員が1名3月で退職し、それに代わる新しい職員1名が加わり、人数としては変わらない体制で新年度がスタートします。新しい保育士を迎えることで良い刺激を受けて、保育士一人ひとりが自己啓発に努め、保育室もレベルアップにつなげていきます。

3. 集団託児

主に講座など開催時に依頼を受けて実施する託児です。
行政関係から受託した託児を中心に、今年度計23回、区内公共施設を中心に外向き託児を行いました。お預かりするお子さんの人数や年齢により派遣する人数を決定しますが、最低2名の体制で、安全なお預りのために細心の注意を払っています。託児場所の状況により、年齢に合わせた玩具や敷物等を持参しての託児です。

4. 子ども・子育てプラザ天沼 一時預かり

開所日 月曜日～土曜日 9:00～17:00（土曜日は16:00）
 利用料 1時間 800円（杉並子育て応援券利用可）
 在籍担当者数（31.3現在） 9名

年間利用者数	2059名
お断り数	426名
キャンセル数	536名

杉並区の地域子育て支援拠点の一つに「子ども子育てプラザ」があります。現在ある3か所のうち、30年4月に新しく開園した「子ども・子育てプラザ天沼」に設置されている一時預かり事業を杉並区より委託を受けてスタートしました。

建物の完成を待ち4月9日オープンに向けて、現地での準備期間が二週間という短時間となりましたが、その間、導線を考え備品の配置をし、事務作業の段取りを確認しシミュレーションを繰り返すなど、アイデアを出し合い試行錯誤の繰り返しでした。まさに生みの苦しみの中で無事初日を迎えました。

内容はひととき保育と同じ、理由を問わない乳幼児の一時預かりです。開始当初は予約状況に余裕がありましたが、月日と共に増え、毎日多くの方の利用があり、予約希望をお断りすることも多くなっています。

この1年、「安心・安全・清潔」をモットーとし、大切なお子さんの命をお預かりしているという意識を忘れず、笑顔と目配り気配りに心がけています。しかしながら、現状では全員での打ち合わせの時間を取ることが難しく、連絡ノートや日誌を利用して確実な情報共有に努めます。開設1年目、子ども子育てプラザ内にある一時預かりとして、プラザ側との連携について不備がまだまだありましたが、いかに両者が協調して事業を進めていくか、今後の課題となっています。

Ⅲ 妊娠期からの子育てまでの情報啓発事業

1. 親子リトミック講座

クラス名	対象	実施回数(回)	参加組数
ねんね	0歳児親子	41	314
はじめてねんね	初参加の0歳児親子	4	29
よちよち	1～2歳児親子	28	217
ジャンプ	2～3歳児親子	35	252
(定期コース)			
よちよち3ヶ月コース	1～2歳児親子	3	23
ジャンプ3ヶ月コース	2～3歳児親子	1	8

イベント名	対象	実施回数(回)	参加人数(組)
サマーコンサート	各クラス	2	58
クリスマスコンサート	各クラス	2	61

シュシュの親子リトミックは親子のコミュニケーションの促進、他の親子との関わりのきっかけ作りを目的のひとつとして開催しています。専門講師3名が分担し大変熱心に取り組んでいただいております。参加者から高い評価を得ています。

年齢により3コース設けていますが、なるべく多くの親子が参加できるように予約は1回毎に受付けています。継続しての参加を希望する親子向けには3か月コースとして継続して6回参加できるコースも用意しています(よちよちクラス・ジャンプクラス)。

杉並子育て応援券対象となっている通常のコースは参加申し込みは順調に推移しましたが、応援券の対象外となる3か月コースジャンプクラスは1回のみ開講となりました。

月1回開催している「はじめてねんね」は、出産後初めて親子で出かけるきっかけのひとつとしても大きな役割を果たしていると考えます。全員が同じスタートであり安心感を持って参加できるのではないのでしょうか。「赤ちゃんカフェ」から「親子リトミック」へ、「親子リトミック」から「つどいの広場」へ、良いつながりが出来ているようです。

恒例のサマーコンサートとクリスマスコンサートも開催しました。サマーコンサートは「はらぺこあおむし」の世界をテーマに、クリスマスコンサートではサン・サーンスの「動物の謝肉祭」をテーマに、親子でリズムをとったり講師の歌や楽器演奏で会場がひとつになりました。

参加費 各クラスともに1回 1000円 (子育て応援券利用可)

	3ヶ月コース（6回分）	6000円
	コンサート	1200円（子育て応援券利用可）
講師	講師3名でクラスを分担して担当	

IV 小学生の居場所事業

1. 小学校の夏・冬・春の長期休暇中の宿題ひろば

参加費 1回 500円（おやつ代込み）

開催月及び日数	参加延べ人数
夏休み 2日間	16
冬休み 2日間	15
春休み 3日間	10

各休暇中の2～3日間、学校の宿題の仕上げや予習復習、読書等にじっくり取り組むことができるようにボランティアやスタッフが見守ります。最終日にはゲーム大会等のお楽しみ会も企画しました。違う学校や違う学年の仲間との交流、親や先生以外の大人との会話を通じて、また新たな休暇中の過ごし方となればと考えています。

2. 毎週火・木曜日の小学生ひろば

開催日数及び参加人数 87日 延べ657名

年会費 2400円

参加費 1回 100円

小学生の安心安全な放課後の居場所としてのひろばです。

毎週火・木曜日の週2回の開催。15時～18時の任意の時間に利用でき、宿題のプリントや音読、自習用のドリルに取り組んでいます。おやつの時間には学校での話題で盛り上がり、勉強が終わった子どもたちはボードゲームや鬼ごっこ、工作などをしてすごします。学芸会の季節にはみんなで即席劇を楽しんだり、ハロウィーンの時期にはおばけごっこで楽しんだり、想像力たくましく学年を超えての楽しみを見つけていました。今後、運営の安定化に向けて抜本的な見直しを検討しています。引き続き見守りボランティアを募集しています。

V 子育てをサポートする人材育成事業

今年度は独立した事業としては実施いたしませんでした。

VI 家庭訪問型子育て支援事業

産前・産後支援ヘルパー

産前産後の家事や育児の支援を必要とする家庭をヘルパーが訪問する事業で、杉並区からの委託を受けています。更に、委託事業で定められた利用期間や回数を超える場合は、自主事業として同じ内容で実施しています。

派遣開始前にコーディネーターが訪問し、利用者の状況を確認して要望を伺い、支援内容を具体的に提示します。主な内容は食事の支度や日常の掃除、沐浴の手伝いや上のお子さんの保育園などへ

の送迎などとなっています。

昨年度は新しいヘルパーを2名迎え、上井草地域、高井戸地域など、やや遠い地域の方にも広く細やかな派遣を行うことができました。

近隣の利用者の方は、ヘルパー利用後間もなく、赤ちゃんカフェやリトミックの利用につながっています。

申し込み件数	184 件
訪問回数(委託分)	864 件
訪問回数(自主分)	300 件
ヘルパー人数(平成 31 年 3 月 31 日現在)	18 名

VII 子育て関連ネットワーク構築事業

多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」の運営

「地域で子育てを」をキーワードとして活動してきたその先にある「誰でもが安心して生活できる街」を目指し、地域の居場所として多世代が出会い交流できるようにしていきたいとの思いで運営しています。シュシュ独自の事業での利用のほか、レンタルスペースとしても展開しています。

シュシュ主催プログラム

①家計の見直しセミナー

基本編	参加費；無料	実施回数；4回	参加人数；21名
ステップアップ編	参加費；500円	実施回数；5回	参加人数；20名

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社の社会貢献事業としてファイナンシャルプランナーによる子育て中ママ向けの基礎講座

②簡単料理講座

地域在住の講師（フードコーディネーター）による子育てや仕事に忙しい人に向けて身近な材料を使った簡単で時短となる料理講座。

参加費；2000円	実施回数；2回	参加人数；14名
-----------	---------	----------

レンタルスペースとしての「茶ちゃ」

フラダンス講座・着付けの教室・子ども向け英語教室・ママ友同士の各種パーティー・親族の新年会などに利用がありました。

今後も地域の居場所「茶ちゃ」として活用できるよう一層の工夫が必要と考えています。その為にもシュシュ利用の方々のニーズに応える企画や、多世代の利用につながるプログラムなどを発信していく予定です。

VII 今後に向けて

私たちに何が出来るか、何をすべきか、常に前を向いて可能性を探りながら、今必要とされている支援について真摯に向き合い、子育て支援の地域の力であり続けることを目指します。